

臨床工学技士



医療技術部
臨床工学部門
臨床工学技士
令和3年3月採用

ある1日の
スケジュール



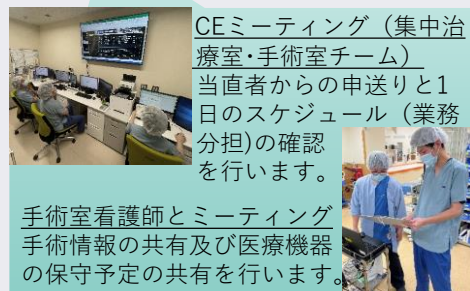
トラブルの際には手術が円滑に進むよう、迅速に対応しています。



集中治療室で急性血液浄化療法を開始するために、回路準備からCHDF開始操作を行います。



人工臓器装置を準備します。

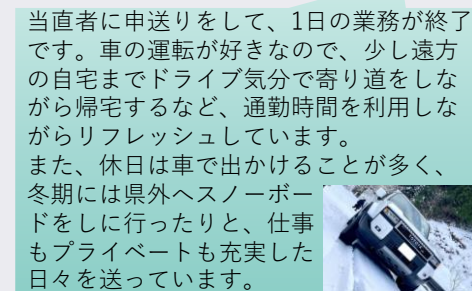


CEミーティング（集中治療室・手術室チーム）
当直者からの申し送りと1日のスケジュール（業務分担）の確認を行います。

手術室看護師とミーティング
手術情報の共有及び医療機器の保守予定の共有を行います。



手術支援ロボット (da Vinci) を操作します。



当直者に申し送りをして、1日の業務が終了です。車の運転が好きなので、少し遠方の自宅までドライブ気分ですり道をしながらか帰宅するなど、通勤時間を利用しながらリフレッシュしています。また、休日は車で出かけることが多く、冬期には県外へスノーボードをしに行ったりと、仕事もプライベートも充実した日々を送っています。

現在担当している業務について教えてください

現在は、集中治療室、手術室での業務に従事しています。集中治療室ではECMOやCRRTをはじめとした、急性期治療に携わっており、手術室では機器のトラブル対応や、手術支援ロボット、神経機能検査装置などの手術で使用される機器の操作及び保守を行っています。

仕事をするうえで心がけていることを教えてください

一番は「コミュニケーション」です。臨床工学技士は院内で唯一の医療機器のスペシャリストであり、生命維持管理装置の操作管理や機器トラブルにおいて周りから頼られる存在です。一見機器相手の仕事と思われがちですが、「人」相手の仕事が多く、コミュニケーション能力はとても重要だと感じています。

高知大学医学部附属病院の臨床工学技士として働く魅力を教えてください

前職は医療機器ディーラーに勤めていましたが、臨床で働く医療職の方々と関わる中で、自分も病院スタッフとして働きたいと思うようになりました。その中でも大学病院は、多くの医療機器や急性期治療など幅広い業務に携わることができ、とても魅力を感じています。スキルアップの支援や教育体制も整っており、私の技術習得スピードに合ったローテーションスケジュールを組んでもらえているので、不安や疑問を解消しながら業務に従事できています。

目標とする将来像を教えてください

「ジェネラリストとして活躍できる臨床工学技士」を目指しています。現在は、各分野の知識習得に向けて勉強会などに積極的に参加しています。ただ、様々な業務に携わる中で各分野に特化したスペシャリストの重要性も感じており、今後、認定資格の取得や学術発表にも力を入れていきたいと思っています。

部署からのメッセージ

新卒・既卒者問わず、一定のレベルへ到達できるように技能評価と、ローテーション教育を行っており、各部署で専門的な知識と技術を多面的に習得できるようにサポートします。また、今後、タスク・シフト/シェアが推進される中で、臨床工学技士としての役割はさらに重要となってくるので、一緒にスキルアップを目指していきましょう！